

【文献整理の方針】

- 調査事業は、ビスフェノールAワーキンググループでリスク評価を実施するための予備調査であり、リスク評価のために有用な文献をスクリーニング・選定を行うことを目的とする。
- ビスフェノールAについては、過去の調査や研究事業において、有用な文献を既に選定している。そのため、過去の事業での成果物の利用も考慮し、R7年度調査では、その成果物を含めて、文献の整理等を実施してはどうか。

H25年度調査※1

- ◆ 対象期間：2010年7月～2013年10月

R元年度調査※2

- ◆ 対象期間：2013年11月～2019年6月

【EFSAとBfRの文献検索の対象期間との関係】

- ◆ EFSA（2023）：2013年1月～2018年10月※5
- ◆ BfR：2013年1月～2022年10月※5

R2～3年度研究※3

- ◆ H25年度調査及びR元年度調査で選定した文献も含めて、文献の整理及び絞り込みを実施。

- ◆ 絞り込んだ文献数：570件
 （動物：147件
 疫学：423件）

R7年度調査※4

- ◆ 過去の事業での成果物：570件
- ◆ 対象期間：2019年6月以降の文献

有用な文献を選定

+

- ◆ 各国評価書の参照文献の整理等

- ・ R2～3年度研究の文献の絞り込み作業により、各国評価書におけるPODの根拠となった文献が除外されている可能性は否定できない。
- ・ これらの文献については、ビスフェノールAワーキンググループで実施するリスク評価のために有用な文献であると考えられるため、リストを作成するなど、漏れないように整理する。

(+その他、有用な文献があれば適宜追加)

ビスフェノールAワーキンググループで実施するリスク評価のために有用な文献

調査事業で選定した文献等を用いての評価書案の作成作業
 （評価書に記載する文献など、更なる選定作業を含む）

※1 ビスフェノールAの食品健康影響評価に関する評価手法の調査及び情報収集・分析（H25年度調査事業）

※2 食品用器具・容器包装に用いられるビスフェノールAに係る評価手法及び科学的知見（体内動態、毒性、ばく露量、疫学調査等）に関する調査（R元年度調査事業）

※3 食品用器具・容器包装に用いられるビスフェノールAのリスク評価に資する科学的知見の検討に関する研究（R2～3年度研究事業）

※4 ビスフェノールAに係る国際機関等の評価及び科学的知見の情報収集並びに整理（R7年度調査事業）

※5 EFSA及びBfRの文献検索の対象期間は、項目により対象期間が異なるものもある。